

授業科目名	看護学概論				科目コード	N12301	
担当者	津田 右子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 「看護とは何か」「看護師とはどのような職業であるか」を学修する科目で今後4年間で学ぶ看護学の基礎となる。看護の対象である人間は身体的・精神的・社会的に統合された総合的存在であり、そのらしさを尊重しながら、科学的根拠のある臨床判断能力、専門職業人としての自覚を高め、人間愛をもち対人関係を形成していく看護の概要を理解する。							
(到達目標) 1. 看護の定義、看護独自の機能、看護専門職、看護の対象、及び看護の概念(健康、環境、人間、看護)を理解する。 2. 看護の変遷、看護倫理、看護制度、看護サービス提供の場、医療安全、多職種連携、看護理論を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
教科書必携(教科書に沿って講義をすすめる)、情報通信技術を用いて医療施設や地域の実際の保健・看護活動を各自で調査し、看護の役割を考える課題がある。グループワークで成果を発表する。基礎看護技術学実習1の必修要件科目である。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	看護概論を学ぶ意義、看護の本質とナイチンゲール、看護独自の機能、						津田 右子
2	看護の考え方:看護の変遷、看護の定義、看護の基本概念(人間、健康、環境、看護)						
3	看護の役割と機能:看護ケア、看護実践とその質保証に必要な要件、役割・機能の拡大						
4	看護の継続性と連携、 看護の対象理解①総合的理解(身体心理社会的理解)、ストレス、コーピング						
5	看護の対象理解②生涯発達する人間、生活者としての人間、家族・集団・地域						
6	健康のとらえ方:健康と健康でない状態及び障害						
7	国民の健康と生活:主な死因、死亡率、医療費、平均寿命など						
8	看護専門職者:職業としての看護、看護職の資格、継続教育とキャリア開発						
9	職業倫理と看護倫理、患者の権利とインフォームドコンセント、守秘義務、個人情報保護						
10	看護実践と倫理問題:医療専門職の倫理規定、倫理原則、倫理ジレンマ						
11	看護提供の仕組み① 看護サービスと提供の場、法と政策						
12	看護提供の仕組み② 看護管理、医療の安全(医療事故)ヒューマンエラー						
13	国際看護 国の地域格差、国際看護の現状、国際協力の仕組み						
14	災害看護 災害と健康、災害派遣医療チーム DMAT トリアージ、災害支援ナース						
15	看護理論とは何か、主な看護理論(ヘンダーソン、オレム、ペプロウ、ロイ 等)紹介						
成績評価方法							
授業評価:レポート課題(必ずオンラインで提出期限を守り提出)評価の視点 課題と内容の一貫性、文章の書き方(誤字脱字が無い、適切な漢字) *出席4/5(15回授業の80%)を満たしていない場合は履修資格を喪失し単位取得不可(公認欠席除く)							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
①系統看護学講座 専門分野1 看護学概論(基礎看護学①)		茂野香おる他		医学書院		978-4-260-02181-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
看護覚え書き		ナイチンゲール		日本看護協会出版会		978-4-8180-2214-0	
看護の基本となるもの		ヘンダーソン		日本看護協会出版会		978-4-8180-1996-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
看護専門用語が多いので、計画的主体的に学修を積み重ね理解しましょう。社会人基礎力としての、前に踏み出す力(積極性)、考える力、自分の困ったことを相談・連絡できるコミュニケーション力を意識して学修しましょう。							
教員との連絡方法 大学メール							
大学の津田メールアドレス <a href="mailto:tsuda@hcu.ac.jp">tsuda@hcu.ac.jp</a> に連絡ください。欠席時は必ず連絡ください。緊急時は大学事務局へ電話。							

授業科目名	生活援助技術学Ⅰ—日常生活援助技術—				科目コード	N12302	
担当者	松原みゆき / 松脇喜久美 他				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	30回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
<p>(概要) 人間が生きていくうえで欠かすことができない日常生活行動の援助技術について学ぶ。健康で日常生活行動を自立して生活することは当たり前のことであるが、病気によって日常生活行動に援助が必要になった場合、人間としての基本的な欲求を満たすことが難しくなる。患者さんの日常生活行動を安心・安全に援助することができる技術について学ぶ科目である。</p>							
<p>(到達目標) 日常生活援助技術について理解し、実施方法がわかる。  ①日常生活援助の技術の実施においては、患者を全人的に捉えた関わりが重要であり、人間関係が基盤となることがわかる②援助の対象である人間の生命徴候とその測定方法がわかり、実施できる。③援助の対象である人間を取り巻く環境について理解し、健康を促すことができる環境を整えることができる。④日常生活行動である、活動・食事・排泄・清潔の援助技術について理解し、実施方法がわかり、実施することができる。</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
身だしなみを整えていない場合は、実習室に入室不可、演習の実施不可とする。実習室は、病室と捉え言動には注意する。各講義においては、事前に講義内容を学習したうえで講義・演習に臨むこと。講義・演習終了後に、ミニテストや技術確認テストを実施する。課題レポート・ミニテスト・実技試験の点数は、成績評価の一部となる。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			回数	講義内容		
1	援助技術について・コミュニケーション			16	清潔・衣生活援助技術		
2	環境調整技術・感染防止の技術			17	清潔・衣生活援助技術		
3	感染防止の技術			18	清潔・衣生活援助技術		
4	活動・休息援助技術			19	バイタルサイン測定		
5	活動・休息援助技術			20	バイタルサイン測定		
6	活動・休息援助技術			21	バイタルサイン測定		
7	環境調整技術：ベッドメイキング・シーツ交換			22	バイタルサイン測定		
8	環境調整技術：ベッドメイキング・シーツ交換			23	苦痛の緩和・安楽確保の技術		
9	環境調整技術：ベッドメイキング・シーツ交換			24	苦痛の緩和・安楽確保の技術		
10	病床での衣生活の援助			25	食事援助技術		
11	清潔・衣生活援助技術			26	食事援助技術		
12	清潔・衣生活援助技術			27	排泄援助技術		
13	清潔・衣生活援助技術			28	排泄援助技術		
14	清潔・衣生活援助技術			29	実技試験		
15	清潔・衣生活援助技術			30	実技試験		
成績評価方法							
・講義・演習終了後に実施するミニテスト(20%)・課題レポート(10%)・実技試験(20%)・定期試験(50%)で評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
系統看護学講座専門1 基礎看護技術Ⅰ		茂野香おる(著者代表)		医学書院		978-4-260-04211-6	
系統看護学講座専門1 基礎看護技術Ⅱ		任 和子(著者代表)		医学書院		978-4-260-04212-3	
看護がみえる vol.1 基礎看護技術		藤本真記子他(監修)		メディックメディア		978-4-89632-733-5	
看護がみえる vol.2 臨床看護技術		近藤一郎他(監修)		メディックメディア		978-4-89632-734-2	
看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント		熊谷たまき他(監修)		メディックメディア		978-4-89632-781-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習・復習の自己学習が重要になります。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業を担当した教員にメールをしてください。調整いたします。							

授業科目名	生活援助技術学Ⅱ－生体機能管理技術－				科目コード	N12303	
担当者	松脇 喜久美/松原 みゆき 他				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	30回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)検査や診療を必要とする対象が安心して安全な療養生活を送るために必要な看護の基本的知識や看護基本技術を学修する。							
(到達目標)生体機能管理に関する基礎的な看護技術を習得することができる。 ①感染予防管理の基礎知識を理解し技術を習得する。②創傷管理技術の基礎知識を理解し技術を習得する。③排泄援助の基礎知識を理解し技術を習得する。④救命救急処置の基礎知識を理解し技術を習得する。⑤呼吸・循環を整える技術の基礎知識を理解し技術を習得する。⑥与薬の基礎知識を理解し技術を習得する。⑦症状・生体機能管理技術の基礎知識を理解し、採血技術を習得する。⑧診療・検査・処置の介助の基礎知識を理解することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
身だしなみを整えていない場合は、実習室に入室不可、演習の実施不可とする。実習室は、病室と捉え言動には注意する。各講義においては、事前に講義内容を学習したうえで講義・演習に臨むこと。講義・演習終了後に、ミニテストや技術確認テストを実施する。課題レポート・ミニテスト・実技試験の点数は、成績評価の一部となる。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容	担当	回数	講義内容	担当		
1	ガイダンス・感染防止の技術	松脇	16	実技試験	松原		
2	感染防止の技術		17	与薬の技術			
3	創傷管理技術	松原	18	与薬の技術	松脇		
4	創傷管理技術		19	与薬の技術			
5	排泄援助技術：導尿・浣腸		20	与薬の技術			
6	排泄援助技術：導尿・浣腸		21	与薬の技術			
7	排泄援助技術：導尿・浣腸		22	与薬の技術			
8	排泄援助技術：導尿・浣腸		23	与薬の技術			
9	呼吸を整える技術		24	与薬の技術			
10	呼吸を整える技術		25	与薬の技術			
11	呼吸を整える技術	松脇	26	与薬の技術	松原		
12	呼吸を整える技術		27	症状・生体機能管理技術			
13	救命救急処置技術		28	症状・生体機能管理技術・採血			
14	救命救急処置技術	内山	29	診療・検査・処置の介助			
15	実技試験	松脇	30	診療・検査・処置の介助			
成績評価方法							
講義・演習終了後に実施するミニテスト(20%)・課題レポート(10%)・実技テスト(20%)・定期試験(50%)で評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
系統看護学講座専門1基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる(著者代表)	医学書院	978-4-260-04211-6				
系統看護学講座専門1基礎看護技術Ⅱ	任 和子(著者代表)	医学書院	978-4-260-04212-3				
看護がみえる vol.1 基礎看護技術	藤本真記子他(監修)	メディックメディア	978-4-89632-733-5				
看護がみえる vol.2 臨床看護技術	近藤一郎他(監修)	メディックメディア	978-4-89632-734-2				
看護学生のための看字ドリル	今地ゆきみ監修	宣広社	978-4906852246				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回、予習(教科書・事前課題など)・復習を行ってください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業を担当した教員にメールをしてください。調整いたします。							

授業科目名	フィジカルアセスメントⅠ（総論）				科目コード	N22301	
担当者	中井 芙美子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
<p>（概 要）フィジカルアセスメントとは、身体的（フィジカル）状態をアセスメントすることであり、看護の対象となる人の健康状態を把握するために必要な技術である。本科目では、主に、問診・フィジカルイグザミネーション（視診・聴診・打診・触診）・計測の技術を学ぶ。そして、対象者の健康状態を把握するために必要なフィジカルアセスメントについて理解するとともに、身体面だけでなく、心理面・社会面も総合して対象を把握することで、看護介入の実施（援助）につながることを理解されたい。</p> <p>（到 達 目 標）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護介入の実施（援助）につなげていくための、フィジカルアセスメントであることが理解できる。</li> <li>2. 問診では、健康歴とセルフケア能力について情報収集し、アセスメントする必要があることが理解できる。</li> <li>3. 視診・聴診・打診・触診の方法がわかる。</li> <li>4. 既習のバイタルサイン測定が、フィジカルアセスメントにつながる技術であることがわかる。</li> <li>5. 計測の実際がわかる。</li> </ol>							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中は私語および携帯電話等の使用を禁止します。</li> <li>・ 課題が提示された場合は、必ず提示してください。</li> </ul>							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	ガイダンス・フィジカルアセスメント総論					中井	
2	問診（健康歴とセルフケア能力）						
3	視診・打診・聴診						
4	問診・視診・打診・聴診から得た情報の整理とアセスメント						
5	バイタルサインの観察とアセスメント						
6	バイタルサインの観察とアセスメント						
7	バイタルサインの観察とアセスメント						
8	計測・まとめ						
成 績 評 価 方 法							
期末試験 70%、課題・レポート・ミニテスト 30%。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名	著 者	出 版 社	ISBN コード				
基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ	茂野 香おる他 著	医学書院	978-4260035644				
看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報学研究所	メディックメディア	978-4896327816				
参 考 書							
書 名	著 者	出 版 社	ISBN コード				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
予習：人体の構造と機能を理解した上で授業を受講のこと。 復習：教科書、配布資料、ノート等を活用のこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
可能な限り対応いたします。							

授業科目名	フィジカルアセスメントⅡ(各論)				科目コード	N22302	
担当者	中井芙美子				履修区分	必修	
開講年次	2	開講期	前期	授業回数	15	単位数	1
授業の概要・到達目標							
<p>(概要)フィジカルアセスメントⅠ(総論)の考えをもとに、本科目では、身体各部(系統別)の身体機能のアセスメント(評価)をするための技術を学ぶ科目である。対象者の状態から何を問診したらよいか、どのフィジカルイグザミネーションが必要か判断して実践し、身体的状態(フィジカル)のアセスメントができるよう学修する。</p> <p>(到達目標) 系統別のアセスメントの視点および方法を理解し、問診・視診・聴診・打診・触診によって得た情報を統合して、対象者の身体的状態をアセスメントすることがわかり、実施できる。</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中は私語および携帯電話等の使用を禁止します ・課題が提示された場合は、必ず提示してください。</li> <li>・授業中はノートを取り、演習には積極的に参加すること。常に「考える」姿勢で臨んでください。</li> <li>・白衣着用時の身だしなみが大学のルールに反しているときは、演習に参加できず、欠席扱いとなります。</li> </ul>							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス・フィジカルアセスメントに必要な知識 呼吸器系のフィジカルアセスメント (講義)					中井芙美子 他	
2	呼吸器系のフィジカルアセスメント (講義・演習)						
3	呼吸器系のフィジカルアセスメント (演習)						
4	循環器系のフィジカルアセスメント (講義)						
5	循環器系のフィジカルアセスメント (講義・演習)						
6	循環器系のフィジカルアセスメント (演習)						
7	乳房・腋窩・腹部のフィジカルアセスメント (講義)						
8	乳房・腋窩・腹部のフィジカルアセスメント (演習)						
9	筋・骨格系・のフィジカルアセスメント (講義)						
10	筋・骨格系・のフィジカルアセスメント (演習)						
11	神経系のフィジカルアセスメント (講義)						
12	神経系のフィジカルアセスメント (演習)						
13	頭頸部と感覚器(眼・耳・鼻・口)フィジカルアセスメント (講義・演習)						
14	事例演習 (まとめ) (講義・演習)						
15	事例演習 (まとめ) (講義・演習)						
成績評価方法							
<p>期末試験 70%、課題・レポート・ミニテスト 30%。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。</p>							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
看護がみえる vo.3 フィジカルアセスメント		医療情報学研究所		メディックメディア		978-4896327816	
フィジカルアセスメントワークブック		山内 豊明 著		医学書院		978-4260018326	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ		茂野 香おる他 著		医学書院		978-4260035644	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
<p>予習: 人体の構造と機能を理解した上で授業を受けてください 復習: 教科書、配布資料、ノートを見て整理し、理解しましょう</p>							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
必要時、可能な限り対応いたします。							

授業科目名	看護過程論 I (基礎編)				科目コード	N22304	
担当者	三島 真由美				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 看護の目的や機能を果たすための1つの方法として、看護過程がある。看護過程は、対象の情報を収集し、それを分析し健康上の問題を明確にし、問題を解決するための計画を立て実践し評価する過程をいう。基礎編では主に、看護過程の基礎的知識及び展開方法を学習する。看護過程の展開をとおして、看護を科学的根拠に基づいて推論し実践につなげることが重要であることから、臨床判断に必要な基本的な考え方を学習する。さらに、看護の実践の証として看護記録が重要になるため、主な看護記録について学習する。							
(到達目標) 1.看護過程の目的が理解できる。 2.看護過程に必要な考え方が分かる。 3.看護過程の構成(情報収集・アセスメント、問題の明確化、計画の立案、実施、評価)に必要な知識を理解できる。 4.看護記録の必要性、種類、法的根拠が理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
学習して知識を活用していきます。「自ら考える」という習慣を身につけて下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			担当	回数	講義内容	
1	看護過程とは何か(目的と構成要素) 問題解決過程と看護過程			三島	9	実施及び評価 看護記録の法的根拠と種類	
2	看護過程の展開に必要な考え方				10	看護記録(基本情報、問題志向型看護記録、フォーカスチャート、フローシート、サマリー、クリニカルパス等)について	
3	(問題解決過程、クリティカルシンキング、倫理的配慮と倫理的判断、リフレクション等)				11	電子カルテと看護診断	
4	アセスメントの枠組み、情報の種類、収集と分析				12	看護診断(アセスメント:情報の分析)	
5	ヘンダーソン、オレム、ロイ、ゴードン				13	(問題の明確化、看護計画の立案)	
6	看護職の守備範囲と問題 (医学的問題・看護問題・共同問題)				14	事例を用いた看護過程の展開1	
7	病態関連図・関連図の活用				15	事例を用いた看護過程の展開2	
8	問題の優先順位、看護計画の立案						
成績評価方法							
・知識の確認のための試験を5回行い、評価の一部とします。(50%) ・筆記試験(50%) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎看護技術 I		茂野香おる他		医学書院		ISBN978-4-260-04211-6	
ゴードン看護診断マニュアル		看護アセスメント研究会 訳		医学書院		ISBN978-4-260-10136-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
随時紹介します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
段階的な理解が必要です。わからない場合は、そのままにしないでください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業の初回に説明します。							

授業科目名	看護過程論Ⅱ(応用編)				科目コード	N22305	
担当者	中井 芙美子/三島 真由美				履修区分	必須	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 看護過程論Ⅰ(総論)で学習した知識・技術をもとに、事例を用いて看護過程の展開を行う。看護過程の展開を行い、アセスメント、問題の明確化、看護計画の立案、実施、評価の過程を理解する。さらに、各段階の相互の関連性を理解する。							
(到達目標) 1.紙上事例の看護過程の展開(情報収集・アセスメント、問題の明確化、計画の立案、実施、評価)ができる。 1)情報に基づいたアセスメントができる。 2)看護問題を抽出することができる。 3)看護計画を立案することができる。 4)評価の視点が述べられる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
考えることを重要視します。「自ら考える」という習慣を身につけて下さい。 人体の構造と機能の知識を必要とします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容	担当	回数	講義内容	担当		
1	看護過程の展開方法について	中井	9	事例2 展開:情報収集とアセスメント	三島		
2	事例1 展開:情報収集とアセスメント		10	事例2 展開:アセスメント・分析			
3	事例1 展開:アセスメント・分析		11	事例2 展開:関連図			
4	事例1 展開:関連図の作成		12	事例2 展開:問題の明確化			
5	事例1 展開:問題の明確化(看護診断)		13	事例2 展開:看護計画の立案1			
6	事例1 展開:看護計画の立案1		14	事例2 展開:看護計画の立案2			
7	事例1 展開:看護計画の立案2		15	事例2 展開:実施及び評価			
8	事例1 展開:実施及び評価						
成績評価方法							
・事例展開のレポート事例1(50%)、事例2(50%)で評価します ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる他	医学書院	ISBN978-4-260-04211-6				
ゴードン看護診断マニュアル	看護アセスメント研究会訳	医学書院	ISBN978-4-260-10136-8				
参考書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
随時紹介します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
段階的な理解が必要で、わからない場合は、そのままにしないでください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業の初回に説明します。							

授業科目名	看護学総合演習 I (看護実践基礎力の涵養)				科目コード	N20301	
担当者	大野/酒井/藤原(理)/村木/山口他				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 専門看護学の各領域において発症しやすい疾患に対する基本的な看護技術を理解し、効果的な看護を展開するための技術を主体的に習得する。また、臨地での看護実践力につながるよう、事例を用い、対象の情報を全人的に分析・判断し(critical thinking)、根拠をもとに(evidence based)適切な看護援助を選択・実施する方法を、シミュレーション学習を通して学修する。							
(到達目標) 1. 3年次の領域別看護学実習で対応できるようにシミュレーション学習を通して看護展開過程ができる。 2. 事例の看護展開及び必要な看護技術を学生が主体的に取り組み、看護実践力を身に着けることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
臨床場面を想定して学生が今まで学修してきた看護について主体的に実践していく演習科目です。 客観的臨床能力試験(OSCE オスキー)Object Structured Clinical Examination に即した演習となります。看護の判断力、技術・マナーなど実際の臨床で必要とされている内容をグループになって学修します。 各領域からの諸注意事項(受講ルール)を遵守して下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				担当者		
1	演習内容 看護診断、看護計画、実施と評価、OSCE オスキーの実施等 * 具体的な演習内容は、各領域から説明があります。  演習時間 * 別途お知らせします。				成人看護領域 教員		
2					老年看護領域 教員		
3					リプロダクティブ・ヘルス領域 教員		
4					子どもとその家族の看護領域 教員		
5					精神看護領域 教員		
6					在宅看護領域 教員		
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法							
各領域の評価:OSCE の演習評価表をもとに評価する。 合格点に満たなかった課題(または領域)については、再試験・補習等の対象となる。 全ての課題(または領域)で合格点を満たした上で単位修得となる。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
既に購入済の各領域の教科書							
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
既に各領域で紹介された図書							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
担当教員の大学メール							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
大学のメールアドレスに連絡してください。至急の場合は大学事務局に電話をして要件をお伝えください。							

授業科目名	看護学総合演習Ⅱ(看護実践応用力の涵養)				科目コード	N20302	
担当者	松原 他				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 全領域で学修してきた知識・技術・態度の統合に基づき、事例検討、状況設定問題等を用い学修する。 健康の段階、発達段階に特徴づけられる対象のニーズに応じた看護実践能力を育成するための、専門知識・技術を強化する。							
(到達目標) 1. 各看護学領域の総合的なまとめとして専門的知識・技術の確認ができる。 2. 自己の専門的知識の評価を行い、今後の課題を見出すことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨地実習で経験した看護事例などを用いた事例検討、状況設定問題等を用いて学修する。</li> <li>・ 全出席が原則である。</li> <li>・ 実施は集中講義と集中試験で行う(日程等は別途指示する)。</li> <li>・ 集中試験は、3回実施する。</li> </ul>							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーション					成人看護領域 教員 老年看護領域 教員 リプロダクティブ・ヘルス領域 教員 子どもとその家族の看護領域 教員 精神保健看護領域 教員 在宅看護領域 教員  他	
2	*具体的な講義内容は、各領域等から説明があります						
3	集中講義:						
4	成人看護						
5	老年看護						
6	リプロダクティブとヘルス						
7	子どもと家族への看護						
8	精神保健看護						
6	在宅看護						
6	集中試験;3回実施						
7							
8							
成績評価方法							
集中講義への出席と態度、3回の集中試験の結果を総合して評価する。 合格点に満たなかった場合は、再試験・補講等の対象となる。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特になし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各看護領域のミニテストや実習で使用する資料を熟読し、適宜自らの学びを書き加えて学習してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
各領域担当の教員に直接質問ください。							

授業科目名	看護学総合演習Ⅲ(看護実践能力の統合)				科目コード	N20303	
担当者	松原 他				履修区分	必修	
開講年次	4年	開講期	後期	授業回数	8	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 全領域で学修してきた知識・技術・態度の統合に基づき、一般問題や状況設定問題等を用い学修する。 健康の段階、発達段階に特徴づけられる対象のニーズに応じた看護実践能力を育成するための、専門知識を強化する。							
(到達目標) 1. 各看護学領域の総合的なまとめとして専門的知識の確認ができる。 2. 自己の専門的知識の評価を行い、今後の課題を見出すことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全出席が原則である。</li> <li>・実施は集中講義と集中試験で行う(日程等は別途指示する)。</li> </ul>							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーション					各領域の教員	
2	*具体的な講義内容は、各領域等から説明があります						
3	集中講義:						
4	人体の構造と機能						
5	基礎看護						
6	成人看護						
7	老年看護						
8	リプロダクティブとヘルス						
	子どもと家族への看護						
	精神保健看護						
	在宅看護						
	健康・社会保障						
	疾病・回復						
	統合と実践						
	集中試験;1回実施						
成績評価方法							
集中講義への出席と態度、1回の集中試験の結果を総合して評価する。 合格点に満たなかった場合は、再試験・補講等の対象となる。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
特になし							
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各看護領域のミニテストや実習で使用した資料を熟読し、適宜自らの学びを書き加えて学習してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
各領域担当の教員に直接質問ください。							

授業科目名	発達看護学概論				科目コード	N12308	
担当者	看護教員/大野 陽子/藤原 理恵子/酒井 美奈子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
【概要】 発達（成人・リプロ・小児・老年期）の視点から看護の対象を理解し、各段階に応じた看護のあり方を学習する （到達目標）							
1. 成人各期にある人の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明することができる。 2. 成人を取り巻く社会環境が健康におよぼす影響とその対策について説明することができる 3. リプロダクティブ・ヘルスに関する概念や倫理、法や施策について説明することができる。 4. 生殖に関する生理を理解し、健康問題について述べるすることができる。 5. 子どもの権利、小児看護に関連する施策や理論について説明することができる 6. 老年期にある人の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明することができる。 7. 高齢社会の現状を踏まえて老年看護に関連する施策や理論について説明することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
資料は講義時に配布します。予備の配布は行いませんので、無断欠勤や紛失の場合は、各自の責任において対応してください。提出物は期限を厳守してください。授業中の私語、携帯電話の使用は禁止です。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス 成人期の看護 成人期の特徴					大野	
2	成人を取り巻く社会環境と生活						
3	成人各期における特徴的な健康問題						
4	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策					看護教員	
5	母性看護の基盤となる概念、リプロダクティブ・ヘルスに関する概念						
6	生殖に関する生理、生殖における健康問題と看護						
7	リプロダクティブ・ヘルスに関する動向と法律や施策					藤原	
8	小児看護の目的、小児看護の変遷と課題						
9	子どもの権利と看護						
10	小児看護と法律・施策					酒井	
11	小児看護で用いられる理論						
12	老年期を生きる人の理解						
13	老年期における特徴的な健康問題						
14	高齢者の暮らしを支えるヘルスケアシステム						
15	老年看護に関連する法律や施策						
成績評価方法							
期末試験 60%。レポート他 40%。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
母性看護学①概論・リプロダクティブ・ヘルスと看護		中込さと子・小林康江・荒木奈緒編	メディカ出版	978-4-8404-7531-0			
小児看護学① 小児の発達と看護		中野綾美編	メディカ出版	978-4-8404-6515-1			
成人看護学概論/成人保健		黒江百合子編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3341-9			
最新老年看護学第3版 2021年版		水谷信子・水野敏子他	日本看護協会出版会	978-4-8180-2304-8			
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問・相談など時間を要する場合は、必ず事前に教員に連絡・確認を取ってください							

授業科目名	発達看護学 成人看護理論-				科目コード	N22306	
担当者	大野 陽子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 成人期の人の特性, 生活者としての多様性を理解し, 成人期の生活行動と健康障害の関連性を理解する. さらに健康レベルに対応したケアを展開するために必要な概念やモデル, 理論について理解し臨地実習につなげる.							
(到達目標) 1. 成人期の活動の多様性, 健康観の多様性を理解し, 健康各期のアプローチについて説明ができる. 2. 成人期にある人の看護に活用できる中範囲理論, 看護理論の概念について説明できる.							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
座席指定あり 主体的な学習態度も評価する							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で, 変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	(ガイダンス) 健康の保持増進のための支援						大野
2	急性期・周手術期: 健康の危機状況への支援						
3	回復期・慢性期: 健康生活の継続への支援						
4	終末期: 人生の最期を迎える人と家族に寄り添う						
5	リハビリテーションを必要とする成人への看護: 生活の再構築への支援						
6	健康危機状況への支援: 危機理論						
7	健康危機状況への支援: ストレスとコーピング						
8	自己管理・生活調整への支援: 病みの軌跡モデル						
9	不確かさへの支援: レジリエンス						
10	健康行動への行動変容への支援: トランスセオレティカルモデル						
11	健康行動への行動変容への支援: 自己効力①						
12	健康行動への行動変容への支援: 自己効力②演習						
13	健康行動への行動変容への支援: アンドラゴジー①						
14	健康行動への行動変容への支援: アンドラゴジー②演習						
15	認識の変容に焦点をあてた理論: リフレクション						
成績評価方法							
・ 期末試験 70点      ・ 主体性 (グループワーク取り組み, 発言など), レポート 30点 ・ 授業態度 学生手帳の注意事項に該当する場合は減点対象とする ・ 受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
成人看護学概論/成人保健		黒江ゆり子編		メヂカルフレンド社		978-4-8392-3341-9	
看護実践に活かす中範囲理論		野川 道子編		メヂカルフレンド社		978-4-8392-1612-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
健康行動理論の基礎		松本千明所著		医歯薬出版株式会社		978-4-263-23337-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
成人看護実習でアセスメント・実施したケアについて理論を活用して行きましょう。 一人一人が自己学習をしてグループワークに参加して相互成長につなげていきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は, 教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンス時に通知							

授業科目名	発達看護学（成人看護方法論Ⅰ（慢性期））				科目コード	N22307	
担当者	後藤 淳, 平 敦子, 廣田 旬孝				履修区分	必修	
開講年次	2	開講期	後期	授業回数	30回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 成人期にある対象の特性をふまえ、慢性期・回復期及び終末期における健康障害についての看護援助方法を学修する。							
(到達目標) 1. 慢性期・回復期及び終末期にある患者とその家族に生じた健康問題に関する情報を身体・心理・社会的側面から収集できる。 2. 慢性期・回復期及び終末期にある患者とその家族における看護上の問題を特定し、看護計画を立案できる。 3. 慢性期・回復期及び終末期にある患者とその家族に対し、看護計画に沿った援助の実施と評価ができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
資料は講義時に配布します。演習は臨地実習と同じ身だしなみとする。座席指定あり。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			担当	回数	講義内容	
1	ガイダンス/看護過程と看護診断（復習）				16	回復期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正②	
2	慢性期 腎不全を有する患者の看護:講義				17	慢性期 がん化学療法における看護:認定看護師による講義	
3	慢性期 情報収集・アセスメント				18	慢性期 血液疾患を有する患者の看護:講義	
4	慢性期 看護診断と関連図の作成				19	慢性期 情報収集・アセスメント・看護診断	
5	慢性期 看護計画の立案				20	慢性期 看護計画の立案	
6	慢性期 看護計画の発表				21	慢性期 看護計画の発表	
7	慢性期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正①				22	慢性期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正①	
8	慢性期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正②				23	慢性期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正②	
9	慢性期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正③				24	終末期 終末期における患者の看護:講義	
10	慢性期 外来患者への看護:講義				25	慢性期 肝疾患を有する患者の看護:講義	
11	回復期 THA 後の患者の看護:講義				26	慢性期 情報収集・アセスメント・看護診断	
12	回復期 情報収集・アセスメント・看護診断				27	慢性期 看護計画の立案	
13	回復期 看護計画の立案				28	慢性期 看護計画の発表	
14	回復期 看護計画の発表				29	慢性期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正①	
15	回復期 看護計画に沿った実践・評価・計画の修正①				30	慢性期 看護過程に沿った実践・評価・計画の修正②	
成績評価方法							
期末試験 60% 看護過程における個人及びグループの成果物 40% (慢性期 3 事例、回復期 1 事例)							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
成人看護学 慢性期看護		鈴木久美他編		南江堂		978-4-524-23436-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習(次回の授業範囲の解剖生理学, 病態生理学, 基礎看護技術を事前に予習して臨む)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンス時に担当教員から説明いたします。							

授業科目名	発達看護学（リプロダクティブ・ヘルス看護理論）				科目コード	N22309	
担当者	山田 晃子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
<p>（概要）</p> <p>妊娠・分娩・産褥期にある女性ならびに新生児の身体的変化や心理的・社会的特徴を理解し、周産期における母子および家族に対する援助について学ぶ。また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点や女性をとりまく社会の変遷から、母性看護の役割と今後の課題について考察する。</p> <p>（到達目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の対象を理解し実践の基盤となる概念と理論について述べるができる。</li> <li>2. 正常な妊娠・分娩・産褥期にある女性ならびに新生児の身体的・心理的・社会的特徴について述べるができる。</li> <li>3. 妊娠・分娩・産褥期にある女性に起こりうる正常からの逸脱やハイリスク状態について述べるができる。</li> <li>4. 新生児期に起こりうる正常からの逸脱やハイリスク状態について述べるができる。</li> <li>5. 現代社会における母性の健康をめぐる課題と母性看護の果たす役割について述べるができる。</li> </ol>							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
講義中に小テストの実施やワークの提出を求めますので、予習・復習をして講義に臨みましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス 母性看護の基盤となる概念と理論					山田	
2	妊娠の生理						
3	妊娠期の身体的・心理的特徴						
4	胎児の発育と胎児付属物の機能，妊婦と胎児のアセスメントと看護						
5	妊娠期の異常						
6	分娩の生理						
7	産婦と胎児のアセスメントと看護						
8	分娩期の異常						
9	産褥の生理						
10	産褥のアセスメントと看護						
11	産褥期の異常						
12	新生児の生理						
13	新生児期の異常						
14	母乳育児への支援，産褥期にある母子のアセスメントと看護						
15	母子相互作用，母子の健康をめぐる課題，まとめ						
成績評価方法							
<p>期末テスト 60%，小テスト・ワーク等の課題 40%</p> <p>ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。</p>							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシンググラフィカ母性看護学② 母性看護の実践		小林康江・中込さと子・荒木奈緒 編		メディカ出版		978-4-8404-7532-7	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシンググラフィカ母性看護学① 概論・リプロダクティブ・ヘルスと看護		中込さと子・小林康江・荒木奈緒 編		メディカ出版		978-4-8404-7531-0	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
教科書や参考書をしっかり活用し、講義・演習で得た知識や学びを誰かに説明してみましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義・演習の後に直接ご質問下さい。片づけ等で時間が取れない場合は、メールでも対応致します。							

授業科目名	発達看護学－リプロダクティブ・ヘルスと看護技術－				科目コード	N12312	
担当者	山田晃子他				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) マタニティサイクルにある女性と新生児，その家族の全体像（身体面・心理面・社会面）を把握し，ウェルネスの視点から対象の健康課題を明らかにする。母子の特徴を理解するとともに，母性看護に必要な看護技術を習得する。							
(到達目標) 1. マタニティサイクルにある女性と新生児，その家族の健康問題を総合的に捉えた看護過程の展開について述べるができる。 2. 妊婦・褥婦および新生児の健康診査，健康教育，援助等行うための技術を実践し，方法について述べるができる。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
事前学習は実践をイメージして，ひとつひとつ根拠を理解しながら行って下さい。演習は，身だしなみを整えて演習が実践できる状態で参加して下さい。整っていない場合は，演習内容の性質上，参加できない場合があります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス					山田他	
2	妊娠期の看護 事例演習						
3	〈技術演習〉レオポルド触診法・NST 装着及び判読						
4	分娩期の看護 事例演習＋ミニグループワーク						
5	〈技術演習〉分娩期の看護・分娩監視装置の判読						
6	産褥期の看護① 事例演習＋〈技術演習〉子宮復古と全身の観察						
7	産褥期の看護② 事例演習＋〈技術演習〉乳房の観察・授乳						
8	〈技術演習〉子宮復古・乳房の観察・授乳（ミニ実技テスト）						
9	産褥期の看護③ 事例演習（帝王切開後の看護）＋ミニグループワーク						
10	新生児期の看護① 事例演習（黄疸・哺乳・体重）（NICU）＋ミニグループワーク						
11	中間テスト						
12	新生児期の看護② 事例演習＋〈技術演習〉バイタルサイン						
13	新生児期の看護③ 事例演習＋〈技術演習〉沐浴・身体計測						
14	〈技術演習〉バイタルサイン・沐浴（ミニ実技テスト）						
15	産褥期・新生児期の母子への看護 事例演習・総まとめ						
成績評価方法							
中間・期末テスト 70%，講義・演習やグループワークへの参加状況 15%，指示された提出物 15% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
ナーシンググラフィカ母性看護学② 母性看護の実践		小林康江・中込さと子・荒木奈緒 編	メディカ出版	978-4-8404-7532-7			
ナーシンググラフィカ母性看護学③ 母性看護技術 第5版		荒木奈緒・中込さと子・小林康江編	メディカ出版	978-4-8404-7533-4			
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
ウェルネス看護診断にもとづく 母性看護過程（第3版）		太田操 編	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23687-1			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
教科書や参考書をしっかり活用し，講義・演習で得た知識や学びを誰かに説明してみましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は，教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義・演習の後に直接ご質問ください。片づけ等で時間が取れない場合は，メールでも対応致します。							

授業科目名	発達看護学（小児看護理論）				科目コード	N22311	
担当者	藤原 理恵子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) さまざまな健康レベルにある子どもとその家族を理解し、権利擁護に配慮した看護実践を行うために必要な基礎的な知識を学ぶ。子どもの発達段階、健康状態、置かれている状況に合わせた援助を実践するために、小児期に特徴的な健康障害と看護、子どもとその家族の持つ力を促進する援助等について学修する。							
(到達目標) 1. 健康障害や入院が、子どもとその家族に与える影響と看護について説明することができる。 2. 小児期に起こりやすい症状と、その要因や機序、発達段階を考慮した看護について説明することができる。 3. 小児期に特徴的な健康障害とその看護について、病態生理や発達段階を踏まえて説明することができる。 4. 子どもとその家族の最善の利益を考慮した看護について考えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・必ず教科書を持参してください。資料は講義時に配布します。予習・復習をして講義に臨んでください。 ・課題の提出期限は厳守してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス 子どもの成長・発達と看護（復習）					藤原	
2	健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護						
3	検査や処置を受ける子どもと家族への看護						
4	急性期にある子どもと家族への看護（発熱、痙攣）						
5	急性期にある子どもと家族への看護（呼吸困難）						
6	急性期にある子どもと家族への看護（嘔吐、下痢、脱水）						
7	周手術期における子どもと家族への看護						
8	活動制限、感染対策上隔離が必要な子どもとその家族への看護（小児感染症）						
9	循環器疾患をもつ児の看護（先天性心疾患、川崎病）						
10	慢性期にある子どもと家族への看護（I型糖尿病）						
11	慢性期にある子どもと家族への看護（ネフローゼ症候群）						
12	子どもの事故、生命徴候が危険な状況にある子どもと家族の看護						
13	虐待を受けている可能性のある子どもと家族への看護						
14	終末期にある子どもと家族への看護（白血病）						
15	終末期にある子どもと家族への看護（白血病）						
成績評価方法							
期末試験（80%）、課題レポート他（20%）。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護		中野綾美 編		メディカ出版		978-4-8404-6515-1	
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学②小児臨床看護学各論		奈良間美保		医学書院		978-4-260-03866-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
病気がみえる 小児科		医療情報科学研究所 編集		メディックメディア		978-4-896-32878-3	
発達段階からみた小児看護過程 ＋病態関連図		浅野みどり他 編		医学書院		978-4-260-02837-0	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義後は、教科書や資料等を読み返し、理解を深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義後に質問等をしてください。							

授業科目名	発達看護学—子どもとその家族の看護技術—				科目コード	N12314	
担当者	藤原 理恵子 / 加藤 千尋 / 榎 美穂子				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 子どもの成長発達、健康レベル、子どもと家族を取り巻く環境を総合的にアセスメントし、子どもと家族の最善の利益を考慮した看護実践を行うために必要とされる看護過程展開の思考過程を学ぶ。 子どもと家族の権利を尊重するかかわり方と小児看護に必要とされる基本的技術を修得する。							
(到達目標) 1. 小児看護における看護過程展開の思考過程を理解し、事例による看護過程を展開することができる。 2. 子どもに対する基本的な看護技術について、手順と根拠、留意点について説明し、実施することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
事前学習をして臨んでください。演習はグループに分かれて行います。積極的に取り組んでください。 技術演習時には、身だしなみを整えて出席してください。事前学習ができていない場合や服装・身だしなみ・態度が不適切な場合は、演習を受けることはできません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス 看護過程演習：事例提示					藤原	
2	プレバレーション復習(DVD)					藤原	
3	看護過程演習：情報の整理					加藤・榎	
4	看護過程演習：アセスメント(グループワーク)					加藤・榎	
5	【技術演習】：バイタルサイン測定					加藤・榎	
6	【技術演習】：末梢静脈点滴確保(シーネ固定)					加藤・榎	
7	看護過程演習：アセスメント					加藤・榎	
8	運動障害のある子どもと家族の看護(脳性麻痺、重症心身障害児者)					加藤	
9	【技術演習】：吸入、経口与薬					加藤・榎	
10	【技術演習】：採尿、療養環境					加藤・榎	
11	看護過程演習：関連図、問題点の抽出(グループワーク)					加藤・榎	
12	看護過程演習：目標立案、看護計画立案(グループワーク)					加藤・榎	
13	看護過程演習：関連図、問題点の抽出					加藤・榎	
14	看護過程演習：目標立案、看護計画立案					加藤・榎	
15	まとめ					藤原・加藤・榎	
成績評価方法							
期末試験 60%、課題レポート、授業・演習への参加状況 40%。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 小児看護学② 小児看護技術		中野綾美 編		メディカ出版		978-4-8404-6515-1 978-4-8404-6516-8	
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学②小児臨床看護学各論		奈良間美保		医学書院		978-4-260-03866-9	
参考書 ※ガイダンスで別途提示							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程		荃津智子 編		医歯薬出版株式会社		978-4-263-23755-7	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
事前学習は、実践をイメージし、根拠を理解しながら行ってください。演習後は、留意点等を復習し、知識が確実なものとなるように学習を深めてください。演習を通して、「考える力」を養ってください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
各教員の研究室にて、随時対応します。							

授業科目名	発達看護学(老年看護理論)				科目コード	N22313	
担当者	酒井 美奈子/武田 留美子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 老年期にある対象について理解を深め、高齢者に適応し対応できる基礎的能力を培うことができる。老年期にある対象の加齢変化とQOLなどを考慮した看護技術が展開できるための基礎的知識を得て、老年看護の専門性を学修する。							
(到達目標) 1. 身体的・心理的加齢変化を学び日常生活に及ぼす影響を説明することができる。 2. 高齢者の健康生活の視点から、高齢者の特徴を理解し老年看護の基本的考え方を説明することができる。 3. 健康課題を持つ高齢者を包括的に捉え、高齢者とその家族に必要な看護が説明できる。 4. 高齢者を取り巻く社会背景を理解し、看護職の役割や課題について説明することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
本講義は、2年次前期「発達看護学概論—老年期の看護—」で学習した内容に基づき展開するので、復習して臨んでください。授業内容の理解を支援するために、毎回講義終了時に、課題および小テストを実施します。指定された方法、期日を厳守してください。講義、GWでは、自分の考えを述べ主体的に参加してください。*遅刻・早退・欠席は学生手帳に準ずる。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス 老年看護の考え方 高齢者の特徴と理解					酒井	
2	加齢に伴う身体的・社会的・心理的変化と看護					酒井	
3	高齢者を取り巻く社会・倫理的課題					酒井	
4	高齢者の薬物療法・治療が必要な高齢者の看護					酒井	
5	高齢者の生活を整える看護:活動・休息					酒井	
6	高齢者の生活を整える看護:排泄					酒井	
7	高齢者の生活を整える看護:コミュニケーション					酒井	
8	高齢者の人生の最終段階における看護					酒井	
9	高齢者の生活を整える看護:栄養・摂食嚥下					武田	
10	認知症高齢者の看護					武田	
11	高齢者とその家族への看護					武田	
12	高齢者の理解に活用できる理論					武田	
13	高齢者を理解する(疑似体験)					酒井	
14	高齢者が歩んできた人生(GW・発表)					酒井	
15	まとめ					酒井	
成績評価方法							
期末試験 60点、課題レポート他 40点。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
専門分野Ⅱ 老年看護学		北川公子他		医学書院		978-4-260-03186-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシング・グラフィカ老年看護学①高齢者看護の健康と障害		堀内ふき・諏訪さゆり・山本恵子編		株式会社メディカ出版		978-4-8404-7840-3	
ナーシング・グラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践		堀内ふき・諏訪さゆり・山本恵子編		株式会社メディカ出版		978-4-8404-7841-0	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
高齢者に関心を寄せることがスタートラインです。身近な高齢者を思い描きながら、一緒に理解を深めていきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンス時に担当教員から説明します							

授業科目名	発達看護学—老年期の看護技術—				科目コード	N12316	
担当者	酒井 美奈子/武田 留美子/深堀 美紀子/塚本 仁美/他				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 高齢者看護の特性を捉え、その看護技術の原理を理解した上で、あらゆる健康レベルに応じ、かつ、様々な生活の場において援助に必要な看護技術を修得する。							
(到達目標) 1. 老年期の特徴的な症状・疾患のアセスメントのポイント及び根拠が説明できる。 2. 高齢者を生活者として理解し、老年期の特徴的な症状・疾患に応じた看護技術の手順・留意点について説明し、実施することができる。 3. 事例による看護過程の展開が実施できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1) 初回の授業までに、指定されている教科書を準備しておいてください 2) 授業中は私語を慎み、他の学生の迷惑となるような行動はしない 3) 演習はペアやグループに分かれて行い、講義は全体で行う 4) 開始5分前には指定の教室へ入室しておくことが望ましい							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス, 高齢者への看護に必要なアセスメント					酒井	
2	【演習】高齢者疑似体験					深堀 他	
3	循環機能障害、脳梗塞の高齢者への看護					深堀	
4	高齢者の慢性疾患による看護過程の展開 1)					塚本	
5	摂食嚥下障害・低栄養の高齢者への看護					武田	
6	運動機能障害、骨折の高齢者への看護					酒井	
7	【演習】ゴードン看護診断、高齢者の慢性疾患による看護過程の展開 2)アセスメント					武田	
8	【演習】高齢者の慢性疾患による看護過程の展開 3)関連図					深堀 他	
9	呼吸機能障害、閉塞性肺疾患、感染症の高齢者への看護					武田	
10	【演習】口腔ケア					深堀 他	
11	感覚器、皮膚疾患、褥瘡における高齢者への看護					武田	
12	排泄障害の高齢者への看護					塚本	
13	【演習】陰部洗浄・おむつ交換					塚本 他	
14	認知症の高齢者の看護: 認知症の診断・治療					武田	
15	【演習】高齢者の慢性疾患による看護過程の展開 4)看護計画					酒井 他	
成績評価方法							
期末試験 70% レポート他 30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
専門分野Ⅱ 老年看護学		北川公子著		医学書院		978-4-260-03186-8	
ゴードン看護診断マニュアル 原書第11版		マージョリー・ゴードン著 看護アセスメント研究会訳		医学書院		978-4-260-01036-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
最新老年看護学第4版2022年版		水谷信子監修、水野敏子他編		日本看護協会出版会		978-4-8180-2244-7	
カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術 第2版		大塚真理子編著		医歯薬出版株式会社		978-4-263-23715-1	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
高齢者への援助技術を実践するうえで、高齢者の特性の基本的知識は大事です。そのためには、与えられた課題、復習などを行い、学びを深めてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンス時に担当教員から説明します							

授業科目名	地域看護学概論				科目コード	N22315	
担当者	山口 扶弥 / 田川 紀美子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
<p>(概要)</p> <p>地域看護活動の概念と対象の捉え(考え)方を理解し、地域看護活動を行う場(保健・医療・福祉機関)における活動の目的及び役割等について学修する。</p>							
<p>(到達目標)</p> <p>社会環境と健康課題(ニーズ)の関連について理解できる。  地域看護の概念と活動領域の特徴や機能・役割について理解できる。</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退出、および授業中の学習環境を損ねる行為(私語等)により退出を求めた場合は、欠席とする。 授業内ワークシート・課題レポートの提出期日を厳守する。期日を過ぎた場合は評価しない。 *講義順序を変更する場合があります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス/地域看護活動とは					山口	
2	暮らしの基盤としての地域の理解						
3	地域看護の対象と活動の場						
4	地域看護活動の変遷と現代における健康課題						
5	地域看護を促す理念						
6	地域看護活動の場 (行政機関)					田川	
7	地域看護活動の場 (産業保健)						
8	地域看護活動の場 (学校保健)						
成績評価方法							
授業内ワークシート、課題レポート、小テストにて評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 期日を過ぎた場合は評価しない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
地域・在宅看護の基盤		河原加代子他		医学書院		978-4-260-04689-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師講座 公衆衛生看護学概論		標 著美奈子他著		医学書院		978-4-260-02004-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
(社会)環境の変化に伴い人々の健康課題は変化します。そして、人々の健康ニーズの変化に伴い保健・医療は変化します。 社会の動きと健康問題に関心を持って下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール:yamaguchi@hcu.ac.jp tagawa@hcu.ac.jp							

授業科目名	地域・在宅看護論				科目コード	N22316	
担当者	山口 扶弥 / 風間 栄子 / 田川 紀美子				履修区分	必須	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 在宅看護を取り巻く社会の動向や保健医療福祉制度を理解し、療養者とその家族の生活環境を理解する。 在宅看護に必要な基礎的知識を身に付け、療養生活の継続および療養の質を高める支援について考える。							
(到達目標) 1. 在宅看護の特性が理解できる。 2. 在宅看護における保健・医療・福祉システムが理解できる。 3. 訪問看護ステーションの機能や役割が理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
① 20分以上の遅刻・退出、および授業中の学習環境を損ねる行為(私語等)により退出を求めた場合は、欠席とする。 ② 私語及び携帯電話の使用は禁止 ③ 教科書を持参し、受講すること							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス/在宅看護の活動の位置づけ					山口	
2	在宅看護が求められる社会背景(Dataからみる)						
3	在宅看護が求められる社会背景(介護状況について)						
4	在宅看護活動・制度の変遷						
5	在宅看護の対象者と特徴						
6	医療の場の移行に伴う看護活動						
7	訪問看護活動の実際					山口/田川	
8	在宅看護に関わる法令・制度①						
9	在宅看護に関わる法令・制度②						
10	訪問看護の制度と看護サービスの提供					山口	
11	在宅療養生活の実際①					風間	
12	在宅療養生活の実際②						
13	在宅看護における看護過程とその展開方法 ①〔看護過程の特徴～対象の捉え方と情報収集〕						
14	在宅看護における看護過程とその展開方法 ②〔看護過程の特徴～アセスメント〕						
15	在宅看護における看護過程とその展開方法 ③〔目標の設定・計画～実施と評価〕						
成績評価方法							
期末試験 60%, レポート(小テスト、課題、授業内ワークシートを含む) 40%。 課題の提出期日が過ぎた場合は評価しない。授業態度についても参考とします。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
地域・在宅看護の実践		河原加代子他		医学書院		978-4-260-04714-2	
地域・在宅看護の基盤		河原加代子他		医学書院		978-4-260-04689-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
弱み強みから見た在宅看護過程		河野 あゆみ		医学書院		978-4-260-03684-9	
医療福祉総合ガイドブック(最新版)		日本医療ソーシャルワーク研究会		医学書院		978-4-260-03586-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義を聞いて、言葉の意味を理解して下さい。講義後、教科書が理解できます。 *教科書「地域・在宅看護の基盤」は、地域看護学で購入したものを使用します。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
オフィスアワーに来室してください。 <a href="mailto:yamaguchi@hcu.ac.jp">yamaguchi@hcu.ac.jp</a> <a href="mailto:kazama@hcu.ac.jp">kazama@hcu.ac.jp</a> <a href="mailto:tagawa@hcu.ac.jp">tagawa@hcu.ac.jp</a>							

授業科目名	生活習慣と健康障害				科目コード	N12321	
担当者	深堀 美紀子				履修区分	選択	
開講年次	2・3年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 生活習慣病は、ライフスタイルや高齢化の進展に伴い人々の健康に大きな影響を与えている。一方、健康についての関心の高まりから自らの健康状態や生活習慣を改善したいと考える人も増えている。生活習慣病について、人々の身近な存在である看護職として援助するための基礎的知識を学習する。							
(到達目標) 1 生活習慣と健康障害の関連について理解する。 2 生活習慣病の種類と特徴を述べることができる。 3 生活習慣病を持つ人の健康状態や生活習慣に関心を向け、必要な援助について考えることができる。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
テキストを準備してください。 レポート等の提出期限は厳守すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	ガイダンス 生活習慣と生活習慣病						深堀 美紀子
2	生活習慣に関連する健康障害（1）						
3	生活習慣に関連する健康障害（2）						
4	生活習慣に関連する健康障害（3）						
5	食事療法						
6	運動療法						
7	禁煙・禁酒・節酒 睡眠						
8	グループワーク まとめ						
成績評価方法							
期末試験 50% 毎回小テスト 30% レポート 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
まるごとわかる！ 生活習慣病		坂根直樹		南江堂		ISBN978-4-525-50141-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
授業範囲を、事前に熟読し、講義に臨む事。 講義終了後は復習し、疑問や不明な点は必ず担当教員に確認するようにしましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
初回ガイダンス時に詳細を説明します。							

授業科目名	家族看護学				科目コード	N12323	
担当者	田川 紀美子				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 家族とは何か？を考えながら、家族をケアの対象として看護するための基本的な知識や援助方法について学ぶ。家族を支援するために、家族発達、家族システム、家族セルフケア等について学ぶ。							
(到達目標) 1. ジェノグラムやエコマップを用いて家族を捉えることができる。 2. 家族の力が発揮できる看護について考えることができる。 3. 家族をケアの対象とし看護することの意味と必要性を理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ディスカッションを行うため、積極的に参加してください。 教科書は必ず持参してください。課題の提出期日は厳守してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	ガイダンス・家族とは・家族を取り巻く背景						田川
2	家族発達1						
3	家族発達2						
4	家族システム1						
5	家族システム2						
6	ジェノグラム・エコマップ						
7	ジェノグラム・エコマップを用いて家族を捉える						
8	家族ストレス対処理論・家族構造-機能理論						
9	セルフケア・パートナーシップ・家族エンパワメント						
10	家族アセスメントモデル						
11	家族看護過程1						
12	家族看護過程2						
13	家族看護の実際1						
14	家族看護の実際2						
15	まとめ						
成績評価方法							
期末課題(50%)、授業内課題やディスカッションへの参加状況(50%) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
家族看護学(改訂第3版)		山崎あけみ 他 編		南江堂		978-4-524-22929-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
家族のかたちも多様化する現代において、家族をケアの対象とし看護することは容易ではありません。家族看護学は、1990年代に入り誕生した学問領域であり、自分たちで考えることが大切です。そのためにも、講義内容に該当する項目について、教科書を読み予習して授業に臨んでください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール:tagawa@hcu.ac.jp							

授業科目名	障害を持つ子どもと看護				科目コード	N12324	
担当者	福田 順				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	8回(集中)	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 特別なニーズのある子どもたちと、その家族への適切な支援を提供するために、基本的な知識を習得していきます							
(到達目標) 障害のある乳幼児の特徴を学び、理解を深め、係わり方を考えられるようになる 保護者やきょうだいへの支援を考えられるようになる 福祉・医療・教育の専門関係機関との連携についての知識を得る							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
2023年度の講義日程については5月26日(金)、27日(土) 各日ともに1限目～4限目の計8コマとなります 毎時間、グループワークとその内容の発表、意見交換を行うことによって学びを深めます。障害児者とその家族について、本当に学びたい人だけ受講して下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	障害のある子どもの行動の意味～たくさんのエピソードより						福田 順
2	障害のある子どもをどのようにとらえるのか～係わり方の基本的姿勢						
3	心身の障害とその理解(身体と運動の障害)						
4	染色体異常、出生前診断						
5	家族の思い、家族への支援						
6	発達障害						
7	障害のある子どもと係わり合うために大切なこと						
8	障害のある子どもの保護者のお話						
成績評価方法							
毎回、講義内容に関するレポート課題を出します。それらと期末試験を合わせて総合的に評価します ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
テキストは使用せず、毎回資料を配布します。							
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
適宜ご紹介します							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃から、障害や障害児に関する書籍・新聞記事・映画・テレビ番組などに関心を持って読んだり観たりしてください。そして、講義ではみなさんのいろいろな想いや疑問点を共有して、学びを深めていきましょう							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
毎回の講義終了時にご質問ください							

授業科目名	がん看護学				科目コード	N12325	
担当者	長屋 由紀子/岩波 由美子/浅野 早苗/札埜 和美/山西 友規				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) がんとうがん治療が患者および家族へ及ぼす影響を理解し、がん患者とその家族にとって最良の QOL を実現するための看護を学ぶ。							
(到達目標) 1. がんの疫学と病態を理解する。 2. がんの予防・スクリーニング・早期発見を支援する看護を理解する。 3. がん患者の治療選択の意思決定を支える看護を理解する。 4. がん治療の有害事象を予防・マネジメントする方法とセルフケアを支援する看護を理解する。 5. がんによりもたらされる苦悩・苦痛を予防・緩和するための看護を理解する。 6. 在宅で療養するがん患者とその家族を支える看護を理解する。 7. がんサバイバーが生き抜く過程を支える看護を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
指定テキストを準備してください。 がん看護に関心のある方、ぜひ受講してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	がんの疫学と病態						長屋
2	がんの予防・スクリーニング・早期発見と看護						
3	エビデンスに基づくがん看護						
4	がん患者の治療選択の意思決定を支える看護						
5	手術療法を受けるがん患者への看護						岩波
6	放射線療法を受けるがん患者への看護						
7	放射線療法を受けるがん患者への看護						浅野
8	薬物療法を受けるがん患者への看護						
9	薬物療法を受けるがん患者への看護						札埜
10	がん患者・家族への緩和ケア						
11	がん患者・家族への緩和ケア						山西
12	在宅で療養するがん患者・家族を支える看護						
13	がんサバイバーシップ(総論)						札埜
14	がんサバイバーシップ(乳がんサバイバーの課題、がん治療に関連した認知機能障害)						
15	事例検討(プレゼンテーション)						
成績評価方法							
レポート 40% 筆記試験 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
がん看護学 第3版		小松浩子, 他		医学書院		978-4-260-02763-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
がん診療レジデントマニュアル 第8版		国立がん研究センター内科レジデント 編		医学書院		978-4260027793	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業内容について、教科書の該当箇所を読み、参考書、配布資料等も活用し、主体的に学習してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールでご連絡ください。その際、必ずタイトルを記載してください。							

授業科目名	災害看護学				科目コード	N12326	
担当者	藤井 宝恵他				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 国内のみならず世界各地で起きた様々な災害で展開された、人々の生命と健康を保健医療福祉も加わる多職種連携で行う支援の特徴と実際を学び、災害時の看護活動について理解を深め、今後の看護のあり方を考察する。							
(到達目標) 災害サイクルや生活の場での、人々の生命と健康を支える具体的な看護活動をグローバル(国際的)な視点から理解し、災害時に適切な看護活動を行う実践力を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 事前に指示した教科書や書籍を熟読して授業に臨み、提出物の期限は厳守してください。 2. 日々の新聞、ニュース、災害関連番組に関心を持ち、自己の考えや、看護者としての対応の在り方について意見が述べられるように努力してください。 3. 携帯電話やタブレットなどは、教員の指示がない限りはカバンにしまっておいてください。 4. 毎回授業の最後に、当日の学習内容について自己がどのような学びをしたかなどを、シャトルカードに記載し提出してください。シャトルカードの提出をもって授業の出席確認としますので、必ず授業終了時に提出してください。							
授業スケジュール ※ 履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス／災害と災害看護および災害看護の対象					藤井 宝恵	
2	災害医療の基礎知識①災害の種類別疾病構造と災害医療						
3	災害医療の基礎知識②災害と情報および災害に関連した法律						
4	災害各期の看護支援①急性期・亜急性期の看護						
5	災害各期の看護支援②慢性期・復興期と静穏期の看護						
6	災害とこころのケア						
7	被災者特性に応じた災害看護						
8	災害と感染症コントロール						
9	災害と国際協力						
10	別途指示					担当教員	
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法							
期末試験 80% レポート 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
災害看護・国際看護		日本赤十字社事業局看護部	医学書院	978-4-260-02005-3			
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
災害看護 寄り添う、つながる、備える		三澤寿美・太田晴美	学研	978-4-7809-1279-1			
国際看護 言葉・文化を超えた看護の本質を体現する		一戸真子	学研	978-4-7809-1222-7			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
災害はいつ起きるか分かりません。看護に携わる専門職者としての知識・技術を備えておく心構えで学習しましょう。日々の災害予知情報等は、厚生労働省のホームページで検索するなどにより、災害危機意識を高め、いつでも対応できる実践力を身に付けておきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。 質問や相談は、授業終了時、教員に申し出て下さい。							

授業科目名	精神保健看護学概論				科目コード	N22327	
担当者	村木士郎				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 精神保健看護学は精神とは何か、精神の健康とはどういうことなのかを心理学的視野から学び、今注目されている脳科学や感情活用理論や対人関係論へと発展させながら、個人から家族、集団への心の健康について学修する。							
(到達目標) 1. 心のはたらきが述べられる。 2. 感情が行動をおこす要因であり、心の健康へ影響していることが述べられる。 3. 対人関係において、感情活用の意義が述べられる。 4. 心のケアについて看護の視点から述べられる。							
履修における注意事項(受講ルールなど) 本科目は必修単位であるため、理由のない欠席は認めません。4/5以上の出席が必要です。 授業中の私語は厳禁です。 携帯電話は、電源を切るかサイレントにして、カバンの中に収めること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	精神看護学で学ぶこと p.2~28						村木士郎
2	精神(心)のとらえかた p.29~74						
3	精神(心)の発達関する主要な考えかた p.75~126						
4	家族/暮らしの場と精神(心)の健康 p.103~148						
5	精神(心)の危機状況と精神保健 ① p.150~173						
6	現代社会と精神(心)の健康 ① p.176~199						
7	現代社会と精神(心)の健康 ② p.200~230						
8	精神保健医療福祉の歴史/現在の姿 p.233~278						
成績評価方法 期末試験 70%, レポート 30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
精神看護学① 精神看護学概論・精神保健		岩崎弥生・渡邊博幸 編集		メヂカルフレンド社		978-4-8392-3305-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
授業で適宜紹介							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど) 講義内容は基本的な心理学的な理論を紹介し、専門用語も多いので、予習・復習が必要です。脳の解剖生理で感情と関連するところは、部位と働きを調べて受講すること。社会との関係も深いので新聞をよく読むこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
muraki@hcu.ac.jp (村木士郎)							

授業科目名	精神保健看護学理論				科目コード	N22328	
担当者	村木 士郎／他				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 精神保健看護学概論で学んだ基礎的知識を踏まえて、精神の疾病・障害に関する基礎的知識と、その看護に必要な基礎的な援助方法・技術・態度を学ぶ。さらに精神保健医療福祉のリハビリテーションの現状と課題について学修する。							
(到達目標) 1.精神の疾病・障害に関する基礎的な知識を理解する。 2.精神の疾患・障害のある人への看護援助について理解する。 3.日本の精神医療におけるリハビリテーションの現状を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど) 本科目は必修単位であるため、理由のない欠席は認めません。4/5以上の出席が必要です。 課題の提出は必修です。期限を厳守すること。授業中の私語は厳禁です。 携帯電話は、電源を切るかサイレントにして、カバンの中に収めること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	精神医療・看護の対象者：精神の病気・障害を持つということ						各担当教員
2	精神障害をもつ人の抱える症状と診断のための検査						
3	精神疾患の主な治療法						
4	精神障害をもつ人と「患者—看護師」関係の構築①						
5	精神障害をもつ人と「患者—看護師」関係の構築②						
6	精神障害をもつ人と「患者—看護師」関係の構築③						
7	精神障害をもつ人への看護援助の展開①						
8	精神障害をもつ人への看護援助の展開②						
9	精神障害をもつ人への看護①精神病棟における事故防止						
10	精神障害をもつ人への看護②精神病棟における安全管理と倫理的配慮						
11	精神障害をもつ人の地域における生活への支援①						
12	精神障害をもつ人の地域における生活への支援②						
13	精神障害をもつ人の地域における生活への支援③						
14	日本の精神医療の発展①						
15	日本の精神医療の発展②						
成績評価方法 期末試験 70%、ワークシート、レポート 30% 課題の提出は必修です。期限を厳守すること。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
精神看護学②精神障害をもつ人の看護		渡邊博之・岩崎弥生編集		メヂカルフレンド社		978-4-8392-3306-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
授業で適宜紹介							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど) 精神保健看護学は、社会の在り方と深い関係があります。最近の社会の出来事、精神医療の動向、法律の改正などにも関心を持ち学習を進めてください。図書館には、精神看護関係のDVDもありますので視聴覚学習も進めていってください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
muraki@hcu.ac.jp (村木士郎)							

授業科目名	精神保健看護学Ⅲ－応用的技術－				科目コード	N12330	
担当者	村木士郎/ 他				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 精神保健看護学概論・理論を基盤として、精神障害のある対象への治療的対人関係形成や看護過程について演習を行う。							
(到達目標) 1. 精神障害のある対象の事例からオレム・アンダーウッドモデルを用いた情報整理とアセスメントを行い、看護過程を展開できる。 2. 地域精神医療と社会福祉の観点から生活する精神障害者の支援について述べられる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
看護の必修科目のため、公的な理由のない欠席は認めません。提出期限を厳守し、過ぎたレポートは受理しません。グループにて演習を行います。メンバー間で協力し学習を深めること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	主な精神疾患／障害の看護①					各担当教員	
2	主な精神疾患／障害の看護②						
3	主な精神疾患／障害の看護③						
4	セルフケアモデルと心のケア						
5	精神科看護のアセスメント「Bio/Psycho/Social モデル」						
6	精神障害をもつ人への看護「事例で学ぶ：精神疾患」①						
7	精神障害をもつ人への看護「事例で学ぶ：精神疾患」②						
8	精神障害をもつ人への看護「事例で学ぶ：精神疾患」③						
9	精神障害者の理解を深める「視覚教材：精神」①						
10	精神障害者の理解を深める「視覚教材：精神」②						
11	精神科病棟における看護－治療的環境と人権						
12	精神科看護における治療的人間関係						
13	事例を用いた看護過程の展開① 事例紹介・情報収集・アセスメント						
14	事例を用いた看護過程の展開② 看護計画						
15	精神科医療における多職種連携						
成績評価方法							
期末試験 60%、ワークシート、レポート 40% 課題の提出は必修です。提出期限厳守のこと。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
精神看護学②精神障害をもつ人の看護		渡邊博之・岩崎弥生編集		メヂカルフレンド社		978-4-8392-3306-8	
書名		著者		出版社		ISBNコード	
精神看護学 第2版		田中美恵子編著		医歯薬出版		978-4-263-23673-4	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
精神疾患(統合失調症・気分障害)の症状や病態生理や薬物療法を復習してから演習に参加すること。後期からの臨地実習で実践できるように学習すること。事例から得た情報についてアセスメントする能力が必要です。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
muraki@hcu.ac.jp (村木士郎)							

授業科目名	在宅看護技術				科目コード	N12334	
担当者	風間栄子／山口扶弥／田川紀美子／藤井隆行				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 在宅において展開される医療技術と在宅で求められる看護技術を学ぶ。 事例展開を通して、療養者と家族の在宅における療養生活の継続を支援する看護(訪問看護)を学ぶ。							
(到達目標) 1. 在宅療養特有の医療・看護技術について理解できる。 2. 事例を通して在宅における療養者と家族の暮らし・生き方・エンパワメントに着目した在宅看護が展開できる。 3. グループワークでは、協力・協働し積極的に学習し学びの共有ができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
① 提出期限のメ切を過ぎたものは受理しない。 ② 演習は、在宅看護実習時の訪問スタイル(襟付きのポロシャツ・ジャージ)服装と髪型を整えて出席する。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス／在宅で看護を展開するにあたって					風間	
2	在宅における日常生活を支える技術①〔食生活・嚥下, 排泄, 移動・移乗, 清潔〕					山口	
3	在宅における日常生活を支える技術②〔呼吸, 認知機能, コミュニケーション〕					山口	
4	在宅看護におけるコミュニケーション技術					藤井	
5	在宅で求められる医療ケア技術①〔外来がん治療の支援と疼痛緩和〕					風間/田川/ 藤井	
6	在宅で求められる医療ケア技術②〔経管栄養法, 中心静脈栄養法 (HPN)〕					風間/田川/ 藤井	
7	在宅で求められる医療ケア技術③〔褥瘡アセスメントとケア〕					風間/田川/ 藤井	
8	在宅で求められる医療ケア技術④〔尿道留置カテーテル, ストーマ〕					風間/田川/ 藤井	
9	在宅で求められる医療ケア技術⑤〔ストーマ〕					風間/田川/ 藤井	
10	在宅で求められる医療ケア技術⑥〔在宅酸素療法の機器管理〕					田川/風間/ 藤井	
11	在宅で求められる医療ケア技術⑦〔在宅酸素療法に伴うケア〕					田川/風間/ 藤井	
12	在宅看護の事例展開①〔事例説明, 情報収集とアセスメント〕(演習)					風間/田川/ 藤井	
13	在宅看護の事例展開②〔アセスメント結果と目標設定・実施計画〕(演習)					風間/田川/ 藤井	
14	在宅看護の事例展開③〔実施と評価〕(演習)					風間/田川/ 藤井	
15	在宅看護の事例展開④〔実施と評価〕(演習)					風間/田川/ 藤井	
成績評価方法							
期末試験 60%, レポート(小テスト、課題、授業内ワークシート)40%, 授業・演習態度も参考とします。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
地域療養を支える技術		臺有桂		メディカ出版			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
弱み強みから見た在宅看護課程		河野 あゆみ		医学書院		978-4-260-03684-9	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
在宅看護技術は、生活の場で提供する看護技術であり、応用力が必要ですが基礎領域等の知識と技術が基本となります。 既習の知識・技術を復習して受講しましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール連絡 e-mail:kazama@hcu.ac.jp(風間), yamaguchi@hcu.ac.jp(山口)							

授業科目名	看護サービス管理学				科目コード	N12336	
担当者	酒井 美奈子 / 大野 陽子 / 平 敦子				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
より質の高い看護サービスを提供するために必要な看護マネジメントの概念について学ぶ。効果的かつ効率的に機能させるための看護組織の仕組み、システム、リーダーシップ・メンバーシップについて理解を深め、自己および組織が担う役割について学修する。看護管理に必要な理論や医療政策、看護政策について学ぶ。							
(到達目標)							
1. 看護管理の本質と看護管理の過程について理解することができる。							
2. 看護サービスマネジメントにおける資源管理(人材、物品、予算、時間、情報)について説明できる。							
3. 看護体制システムを理解し、看護の質向上および質を保証するための方法について説明できる。							
4. 人材育成の実態や制度を学び、将来看護職として自己の能力開発の必要性を理解する。							
5. 看護管理に必要な理論や、関連する法律、医療政策について説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・主体的に学び・考え、発言できる機会とすること(グループワークを含む)							
・授業前の到達目標を意識した課題レポートとすること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				予定日	担当者	
1	授業ガイダンス 看護管理を学ぶ意義 看護サービスとは					酒井	
2	看護ケアのマネジメント① (看護管理プロセスと患者の権利)					酒井	
3	看護ケアのマネジメント② (安全管理)					大野	
4	看護ケアのマネジメント③ (感染管理)					大野	
5	看護ケアのマネジメント④ (チーム医療)					平	
6	看護サービスのマネジメント① 組織と看護提供のしくみ					酒井	
7	看護サービスのマネジメント② 人的資源管理・物的資源管理・情報管理					平	
8	看護サービスのマネジメント③ 看護ケアの質の評価と質改善					酒井	
9	人材育成と看護職のキャリアマネジメント					平	
10	マネジメントに必要な知識と技術① 組織変革とマネジメント					大野	
11	マネジメントに必要な知識と技術② リーダーシップとフォロアーズ					平	
12	看護を取り巻く諸制度① 看護政策					外部講師	
13	看護を取り巻く諸制度② 看護管理と倫理的課題					大野	
14	演習 「看護管理をテーマとした GW」					酒井	
15	発表 まとめ					酒井	
成績評価方法							
期末試験 60% 課題レポート他 40%。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
「系統看護学講座看護の統合と実践(1)看護管理」		上泉和子他著		医学書院		978-4-524-25571-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
授業で適宜紹介							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
看護管理は、患者さんにより看護を提供するために、成果があがる仕組みをつくり、人を育て、結果、みんなが幸せになるためのマネジメントです。豊富な臨床経験を持つ講師が「現場の看護」を紹介しながら、これまで学んできた単元の知識を統合させていく学修を支援します。組織として個人として求められていること、必要なことを一緒に考えていきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンス時に提示する							

授業科目名	看護サービス管理学				科目コード	N12336	
担当者	酒井 美奈子/ 平 敦子/渡邊 多恵				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) より質の高い看護サービスを提供するための看護組織の仕組み、マネジメント、リーダー・メンバーシップ・チーム医療での役割、医療政策や看護政策などを学ぶ。							
(到達目標) 1. 専門職が提供するサービスの特徴を理解し看護におけるサービスの特徴と課題が説明できる。 2. マネジメントとリーダーシップの重要性について説明できる。 3. 質の高い看護の提供に要因について説明できる。 4. 看護サービスを支える法律について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・主体的に学び・考え、発言できる機会とすること(グループワークを含む) ・授業前の到達目標を意識した課題レポートとすること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	授業ガイダンス 看護管理を学ぶ意義 看護サービスとは						各担当教員
2	マネジメントについて マネージャーと リーダー						
3	看護組織と管理 組織変革						
4	看護提供方式 リーダーシップとメンバーシップ						
5	看護管理プロセス						
6	看護資源の獲得と配分						
7	キャリアマネジメント						
8	チーム医療						
9	管理行動 コミュニケーション アサーション 指示 交渉						
10	看護管理における情報の取り扱い						
11	アウトカムマネジメント						
12	医療政策と看護管理 職能団体						
13	看護管理と倫理						
14	安全管理						
15	まとめ これからの看護管理に求められるリーダーシップ						
成績評価方法							
期末試験 50% グループワーク・授業に臨む姿勢 30% レポート・シャトルカード内容 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
看護管理学		手島恵・藤本幸三編		南江堂		978-4-524-25571-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
看護管理概説		井部 俊子編集		日本看護協会出版会		978-4-8180-0971-4	
看護の統合と実践 看護管理		加藤 和子編集		メディカ出版		978-4-8404-4142-1	
看護サービス管理学		小池 智子編集		医学書院		978-4-260-03661-0	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
過去の実習病院やドラマなどのマネジメントの方法と照らし現状、課題などを考察しマネジメントの視点を深め統合実習につなげる							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンス時に提示する							

授業科目名	チーム医療論 I (概論)				科目コード	N22330	
担当者	田川・河野・風間・馬屋原・本多・高島・藤井				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
授業の概要・到達目標							
(概要) 異なる専門領域の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。ケアチームの概念、チームワークの難しさや効果、リーダーシップ、組織管理について学習する。事例を通して連携の方法論とグループダイナミクスについて考察する。将来よりよいチームアプローチを実践するための基礎を培う。医療福祉に関わる各専門職について、歴史、学問体系、役割、機能についての基本的知識を学ぶ。学科横断的に編成するチームによる事例検討を通して、チームによる問題解決プロセスを経験する。よりよいチームアプローチのために必要な要因について学習する。							
(到達目標) 1. チーム医療の重要性を理解する。 2. 望ましいチームワークに必要な、基本的知識およびスキルを習得する。 3. チーム医療を構成する各専門職の役割や支援(治療)目標を理解する。 4. 各専門職間の連携、協働の方法を理解し、医療、地域、福祉領域の連携の重要性を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
アクティブに授業に参加すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	チーム医療とは何かを概観し、チーム医療について理解を深める。					田川	
2	医師の仕事とチーム医療における役割					河野	
3	理学療法士の仕事とチーム医療における役割					馬屋原	
4	作業療法士の仕事とチーム医療における役割					高島	
5	言語聴覚士の仕事とチーム医療における役割					本多	
6	保健師の仕事とチーム医療における役割					田川	
7	看護師の仕事とチーム医療における役割(在宅看護)					風間	
8	看護師の仕事とチーム医療における役割(精神看護)					藤井	
成績評価方法							
各課題における取り組み状況やプレゼンテーション・レポートによって評価 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
資料を適宜配布							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
アクティブに参加すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	チーム医療論Ⅱ(看護師の役割とキャリア形成)				科目コード	N22331	
担当者	津田/田川/平/風間				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) チーム医療論Ⅱではチーム医療論Ⅰに続き、チーム医療の理念と実際について学修を深め、チーム医療における多職種協働と看護専門職の役割、キャリア形成について学修する。							
(到達目標) 3. チーム医療の理念である4つの要素、倫理を考える。 4. チーム医療と生活を支えるチームアプローチの論理やデザイン、多職種協働を考える。 5. チーム医療における看護専門職とキャリア形成を考える。 6. チーム医療の実際(事例検討)を通して看護師の役割を考える。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
教科書必携(教科書に沿って講義をすすめる) グループワークで積極的に発言し参加する。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	チーム医療の4つの要素(専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)と困難						津田
2	チーム医療への期待と倫理(患者を中心としたチーム医療)						津田
3	チーム医療からチームアプローチへの論理(医療、介護、福祉との連携)、多職種協働、地域包括ケアシステム						津田
4	チーム医療の中で看護の専門性及び看護専門職のキャリア形成						津田
5	チーム医療活動の実際①:入院から退院までのチーム医療と看護師の役割						平
6	チーム医療活動の実際①:発症→入院→急性期→回復期→介護老人保健施設→在宅のチームアプローチと看護師の役割						風間
7	チーム医療活動の実際③地域における看護職の役割						田川
8	まとめ						田川他
成績評価方法							
課題レポート提出(課題を理解し内容が一致し、自己の考察を述べている) 2/3以上の出席で履修資格を得ている。							
教科書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
チーム医療とは何か	細田満和子	日本看護協会出版	978-4-8180-2361-1				
参考書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
チーム医療論	鷹野和美編著	医歯薬出版株式会社	4-263-23392-1 c 3047				
実践多職種連携教育	寺崎文生監修	中外医学社	978-4-498-10912-4				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
学生は臨地実習でもチーム医療の一員として行動が必要となります。主体的に授業に参加することを期待しています。							
教員との連絡方法 大学メール							
講義の中でお知らせします。代表 tsuda@hcu.ac.jp							

授業科目名	看護研究				科目コード	N12337	
担当者	看護学科指導担当教員				履修区分	必修	
開講年次	4年	開講期	通年	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 学生各々が研究テーマを明確にし、論文作成までの一連の研究過程を通して、研究の科学的アプローチを理解し、研究的態度を養う							
(到達目標) ①これまでに学習したことを踏まえて研究課題を明らかにする。 ②課題に関連する文献を選択し、選択した文献の概要について説明できる。 ③研究目的に基づいて、研究計画書を作成することができる。 ④課題に沿った文献検討を行い、論理的な文章を作成できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
各自が関心のテーマを研究し、発表・討論します。授業はゼミナール方式になりますので、必要な論文を読んでまとめて、資料を作成するなど、主体的に学習し、準備を行った上で参加してください。これまで学習した知識・技術・態度の集大成となる科目です。指導教員に相談の上、計画的かつ積極的に進めてください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	研究課題の明確化及び研究領域・指導教員の決定(令和3年3月~4月)						看護学科指導担当教員
2	ガイダンス 概要説明, 研究計画書作成についての復習						
3	教員からの指導を受けながら, 以下の流れで進める。研究課題の(テーマの決定)						
4	関心のある研究疑問について調べ, テーマに関する先行研究の動向を知る。						
5	} 自己の決めたテーマに沿って文献収集						
6							
7	} 研究内容の整理						
8	} 文章のまとめ, 必要な図表の作成						
9							
10	研究計画書の作成						
11	研究計画書の作成						
12	内容及び文章表現の検討・推敲						
13	看護研究発表準備(パワーポイント原稿作成など)						
14	看護研究発表						
15	研究計画書の最終提出						
成績評価方法							
看護研究評価表に基づいて評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 (グループゼミ参加や個人面接の出席を厳重にする) 4/5以上の出席を求める。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
3年前期の研究方法で使用した看護研究の単行本(購入済み)							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
系統看護学講座 別巻 看護研究		坂下 玲子/宮芝 智子/小野 博 著		医学書院		978-4-260-02182-1	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
臨地実習や就職試験などで、看護研究に関する時間配分が難しいこともありますが、計画的に進めてください。参考になる書物や関連の論文を確実に読みとる能力をつけてください。主体的な学修を望みます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員と連絡方法を確認しておいてください。指導予定の時間を厳守し、出席して出席印を貰う。(学習履歴を残す。)無断で休まないこと。指導を受ける際に必要な資料類は学生が用紙を準備し、人数分の印刷をして臨んでください。							

授業科目名	研究方法論				科目コード	N12338	
担当者	矢野美紀 / 看護学科各領域の教員				履修区分	必修	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 研究プロセスである研究課題・研究計画・データの収集方法・データ分析・論文作成・発表に関する基礎知識と方法について学び、看護を探究し、看護現象を科学的・客観的にとらえる看護研究の基盤を学修する。							
(到達目標) 1. 研究プロセス(計画・実施・データ分析・論文作成・発表)が説明でき、科学的な思考について説明できる。 2. 文章の検索方法がわかり、検索することができる。 3. 研究デザインがわかり、研究課題の絞り方と研究方法について理解することができる。 4. 倫理的配慮の必要性がわかり、倫理申請の方法を理解することができる。 5. データの収集方法、データの分析方法がわかる。 6. 量的研究と質的研究が理解できることができる。 7. 研究論文作成の基礎となる記述方法がわかる。 8. プレゼンテーションができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業で使用する教材(印刷物)は、当日又は事前に配布します。文献を各自読んでまとめる課題があるので、興味のある研究については、積極的に医学中央雑誌等でWEB検索し、ダウンロードして読む習慣を身に付けてください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	研究とは / 学術論文の種類と構成					矢野	
2	検索方法						
3	倫理的配慮と倫理申請の方法						
4	データの収集方法、分析方法及びまとめ方						
5	量的研究 / 質的研究 / 実験研究の方法・分析						
6							
7	論文の記述方法						
8	基礎看護学領域に関する研究の実際					松原	
9	成人看護学領域に関する研究の実際					後藤	
10	老年看護学領域に関する研究の実際					武田	
11	小児保健に関する研究の実際					田川	
12	母性看護学領域に関する研究の実際					矢野	
13	精神看護学領域に関する研究の実際					村木	
14	公衆衛生における分野の研究の実際					神崎	
15	プレゼンテーション / まとめ					矢野	
成績評価方法							
最終的な成績判定は、期末試験結果(80%)、小テスト又は課題及びその他受講態度等(20%)で総合判定する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
黒田裕子の看護研究 Step by Step		黒田裕子		医学書院		978-4-260-01596-7	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業で学んだことを活用できるパソコン環境(インターネット・Word・Excelの使用)を設備することが望ましい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
①矢野: <a href="mailto:E-maiyano@hcu.ac.jp">E-maiyano@hcu.ac.jp</a> ・ ②その他の単元(8~14回目)では、担当教員の指示に従ってください。							

授業科目名	公衆衛生看護学概論				科目コード	N12401	
担当者	神崎 匠世/金藤 亜希子				履修区分	選択	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 地域で暮らす人々に対し、疾病予防及び健康の保持増進に努め、地域全体の QOL 向上を目指す保健師活動について学ぶ。またその中で、社会情勢の変化に即した保健師活動を概観し公衆衛生看護の基礎を学ぶ。							
(到達目標) 公衆衛生看護の概念と活動領域の特徴や機能・役割について理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとする(オンライン講義の場合も同様)。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を過ぎた場合は評価対象としない。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	コースオリエンテーション(保健師課程を選択するにあたって)					神崎	
2	公衆衛生の理念						
3	公衆衛生看護の理念と基盤となる概念						
4	公衆衛生看護の歴史						
5	公衆衛生看護の対象						
6	社会環境の変化と健康課題①						
7	社会環境の変化と健康課題②						
8	現代における健康課題①					金藤	
9	現代における健康課題②						
10	公衆衛生看護の場①						
11	公衆衛生看護の場②						
12	公衆衛生看護活動の展開						
13	公衆衛生看護活動の実際①						
14	公衆衛生看護活動の実際②						
15	まとめ					神崎	
成績評価方法							
定期試験(80%)、授業内ワークシート・レポート・小テスト等(20%) ※講義状況によっては割合を変更することがあります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師講座1公衆衛生看護学概論		標 美奈子 他		医学書院		978-4-260-04707-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
保健師課程を希望する方には、この科目が選抜評価の一部となります。 また看護師として必要な知識となる科目ですので、保健師課程を希望しない方も履修されることを望みます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール：kanzaki@hcu.ac.jp, kanefuji@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護学—アセスメント論—				科目コード	N12402	
担当者	金藤 亜希子/神崎 匠世				履修区分	選択	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 地域の人々の健康を多角的・継続的にアセスメントする方法論を通して、健康課題、行政課題の明確化及び思索家と保健活動の関連性を学修する。							
(到達目標) 1. 地域アセスメントの意義について理解する。 2. 根拠に基づく地域診断の展開方法について理解できる。 3. 地域診断と保健活動の関連性が理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退中は欠席扱いとする。オンライン講義に関する出席は指示に従うこと。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を厳守する。提出期日を過ぎた場合は評価しない。 教員から連絡を受けた場合は、必ず返事を返すこと。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	地域看護活動とは					金藤	
2	地域アセスメントと健康課題						
3	地域アセスメントと行政課題						
4	地域アセスメントのためのデータ源①量的データ						
5	地域アセスメントのためのデータ源②質的データ						
6	地域アセスメントに関連したモデル①					神崎	
7	地域アセスメントに関連したモデル②						
8	地域診断の過程と展開方法①						
9	地域診断の過程と展開方法②						
10	地域診断の過程と展開方法③						
11	地域診断の過程と展開方法④					金藤	
12	既存資料を活用した地域診断の実際①						
13	既存資料を活用した地域診断の実際②						
14	既存資料を活用した地域診断の実際③						
15	地域診断と保健活動(地域保健福祉計画、保健事業計画)						
成績評価方法							
定期試験(50%) 授業内ワークシート・レポート・発表内容(50%) *講義状況によって割合を変更することがあります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師口座 公衆衛生看護学概論		標 美奈子 他著		医学書院		978-4-2600-3560-6	
標準保健師口座 公衆衛生看護学技術		中村裕美子 他著		医学書院		978-4-260-03870-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
コミュニティズパートナー 地域看護学の理論と実際		エリザベス T.アンダーソン ジユティス・マクファレン		医学書院		978-4-260-00326-1	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール:kanefuji@hcu.ac.jp , kanzaki@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護学—保健活動論—				科目コード	N12403	
担当者	神崎 匠世/金藤 亜希子/貞森 節子				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 学校・産業・行政における保健活動について、それぞれの理念と目的、制度とシステム、健康課題、保健活動の展開方法について学修する。							
(到達目標) 学校・産業・行政等、それぞれの「場」における健康課題の特徴と保健師・養護教諭の役割について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退席扱いとする(オンライン講義の場合も同様)。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を過ぎた場合は評価対象としない。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	公衆衛生看護活動の概要					神崎	
2	産業保健の目的と保健師の役割						
3	産業保健の動向						
4	産業保健の制度とシステム						
5	産業保健における健康課題への対策と支援①						
6	産業保健における健康課題への対策と支援②						
7	行政保健師の保健活動について						
8	地域診断と保健計画						
9	地域保健行政の仕組みと健康政策①						
10	地域保健行政の仕組みと健康政策②						
11	学校保健の理念と目的					貞森	
12	学校保健の歴史						
13	学校保健・看護の対象と健康課題						
14	学校保健の制度・システム						
15	養護教諭の職務						
成績評価方法							
定期試験(80%)、授業内ワークシート・レポート・小テスト等(20%) ※講義状況によっては割合を変更することがあります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師講座3対象別公衆衛生看護活動		中谷芳美 他		医学書院		978-4-260-03187-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
最新保健学講座 公衆衛生看護活動論①/②		金川克子編		メヂカルフレンド社		978-4-8392-2181-2 /978-4-8392-2182-9	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
保健・医療・福祉に関する最新の動向に関心を持つこと。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール：kanzaki@hcu.ac.jp, kanefuji@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護学—地区活動論—				科目コード	N12404	
担当者	金藤 亜希子/神崎 匠世				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) さまざまなライフステージ及び健康課題の特性について理解し、人々が主体的に健康問題を解決できるための公衆衛生看護活動について理解する。							
(到達目標) ・地域で暮らす人々のライフステージ及び健康課題の特性と具体的支援について理解できる。 ・各保健医療制度と公衆衛生看護活動について理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとする。オンライン講義に関する出席は教員の指示に従うこと。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を厳守する。提出期日を過ぎた場合は評価しない。 教員から連絡を受けた場合は、必ず返事を返すこと。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	地区活動の基本と対象の捉え方					金藤	
2	地区活動の展開						
3	地区活動の展開						
4	母子の保健医療施策と看護活動①					神崎	
5	母子の保健医療施策と看護活動②						
6	成人の保健医療施策と看護活動①						
7	成人の保健医療施策と看護活動②					金藤	
8	高齢者の保健医療施策と看護活動①						
9	高齢者の保健医療施策と看護活動②						
10	精神保健福祉活動					金藤	
11	難病保健福祉活動						
12	感染症保健福祉活動①						
13	感染症保健福祉活動②						
14	危機管理・災害保健活動①						
15	危機管理・災害保健活動②						
成績評価方法							
定期試験(50%) 授業内ワークシート・レポート・発表内容(50%) *講義開講状況によって割合を変更することがあります。 *受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
標準保健師講座対象別公衆衛生看護活動3		中谷芳美他	医学書院	978-4-260-0182-3			
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
最新保健学講座 公衆衛生看護活動論①/②		金川克子編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2181-2 /978-4-8392-2182-9			
公衆衛生看護学テキスト公衆衛生看護活動I		岡本玲子編	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23115-9			
最新 公衆衛生看護学		宮崎美砂子 他編	日本看護協会出版会	978-4-8180-2158-7			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
保健・医療・福祉に関する最近の動向に関心を持つこと。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール:kanefuji@hcu.ac.jp, yamaguchi@hcu.ac.jp, kanzaki@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護学—アセスメント展開—				科目コード	N12405	
担当者	神崎 匠世				履修区分	選択	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 地域の人々の生活と健康をアセスメントする方法論の実践を通して、健康課題に関連づけた保健活動の展開過程を学修する。							
(到達目標) 1.地域アセスメント実際が説明できる。 2.事例を通して地域の顕在的・潜在的健康課題に気づき施策化との関連性が説明できる。 3. PDCA サイクルの中に位置づけて説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとする(オンライン講義の場合も同様)。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を過ぎた場合は評価対象としない。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	地域診断とは(ガイダンス)					神崎 匠世	
2	地域診断の過程①既存資料からの情報収集						
3	地域診断の過程②資料分析						
4	地域診断の過程③資料分析						
5	地域診断の過程④地域概要の把握						
6	地区視診計画立案						
7	地区視診計画の確認						
8	地域を歩いて知ろう①地区視診の実践						
9	地域を歩いて知ろう②地区視診の実践						
10	地区視診結果分析①						
11	地区視診結果分析②						
12	地域診断および健康課題の明確化①						
13	地域診断および健康課題の明確化②						
14	発表						
15	まとめ						
成績評価方法							
授業内ワークシート・レポートおよび発表等(100%) ※講義状況によっては割合を変更することがあります。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師講座1公衆衛生看護学概論		標 美奈子 他		医学書院		978-4-260-04707-4	
標準保健師講座2公衆衛生看護技術		中村裕美子 他		医学書院		978-4-260-03870-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際		E・T.アンダーソン J・マクファーレン		医学書院		978-4-260-00326-1	
最新保健学講座 公衆衛生看護管理論		平野かよ子 編		メヂカルフレンド社		978-4-8392-2183-6	
地域看護診断 技法と実際		金川克子 編		東京大学出版会		4-13-062405-9	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
個人ワークおよびグループワークに積極的に取り組み、地域アセスメント能力を高めてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール：kanzaki@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護学—保健活動展開—				科目コード	N12406	
担当者	神崎 匠世/貞森 節子				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 学校・産業・行政における保健活動について学んだ理論をもとに、それぞれの活動における具体的な展開方法を学修する。							
(到達目標) 産業保健の場における保健活動の展開として保健指導を適切に行うことができる。 学校保健の場における保健教育活動の展開として保健教育、保健管理を適切に行うことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとする(オンライン講義の場合も同様)。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を過ぎた場合は評価対象としない。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	産業保健活動の展開における基本					神崎	
2	産業保健活動の実際						
3	産業保健情報の把握と活用						
4	産業保健計画の立案						
5	産業保健における健康教育の目的、対象、技術						
6	産業保健における健康教育の展開過程						
7	産業保健における健康教育の実際①						
8	産業保健における健康教育の実際②						
9	産業保健における健康教育の実際③						
10	産業保健活動の評価・まとめ						
11	学校保健における健康教育の目的、対象、展開過程					貞森	
12	学校保健における健康教育の実際						
13	養護教諭の役割、健康観察、健康相談活動、健康診断						
14	特別支援教育の基本					神崎	
15	特別支援教育の実際						
成績評価方法							
定期試験(80%)、授業内ワークシート・レポート・小テスト等(20%) ※講義状況によっては割合を変更することがあります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師講座3対象別公衆衛生看護活動		中谷芳美 他		医学書院		978-4-260-03187-5	
標準保健師講座2公衆衛生看護技術		中村裕美子 他		医学書院		978-4-260-03870-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
保健・医療・福祉に関する最新の動向に関心を持つこと。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール：kanzaki@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護学—地区活動展開—				科目コード	N12407	
担当者	金藤亜希子／田川紀美子				履修区分	選択	
開講年次	3	開講期	前期	授業回数	15	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 公衆衛生看護学—地区活動論—で学んだ知識を活用し、実践を行う際に必須の知識と技術を学修する。							
(到達目標) 対象の特性に応じた支援の目的、具体的な支援方法について理解し実践できる。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとします。オンライン講義に関する出席は教員の指示に従ってください。 授業内ワークシート・レポートの提出期日は厳守してください。提出期日を過ぎた場合は評価の対象としません。 教員から連絡を受けた場合は、必ず返事を返してください。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	公衆衛生看護学 地区活動の展開方法					金藤・田川	
2	健康相談とは						
3	家庭訪問の展開方法①						
4	家庭訪問の展開方法②-ロールプレイ						
5	健康診査①母子						
6	健康診査②母子-ロールプレイ						
7	健康診査③成人・高齢者						
8	健康教育とは						
9	健康教育の展開方法						
10	健康教育指導案・媒体作成						
11	健康教育指導案・媒体作成						
12	健康教育指導案・媒体作成						
13	健康教育の実際（健康教育実施）						
14	健康教育の実際（健康教育実施）						
15	健康教育の実際（健康教育実施），まとめ						
成績評価方法							
授業内ワークシート・グループワーク・発表内容（100%） *受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第4版		中村裕美子 他著		医学書院		978-4-260-03870-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
公衆衛生がみえる 2022-2023		医療情報科学研究所		メディックメディア		978-4-896-32858-5	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
保健・医療・福祉に関する最近の動向に関心を持つこと。 グループワークを行う際には積極的に参加すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール：kanefuji@hcu.ac.jp, tagawai@hcu.ac.jp							

授業科目名	公衆衛生看護管理論				科目コード	N12408	
担当者	神崎 匠世/金藤 亜希子				履修区分	選択	
開講年次	4年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 地域住民の多様化・複雑化した健康ニーズに対応すべく、保健師による質の高い支援に必要な人的資源・物的資源・経済的資源を有効活用する仕組み、管理について学修する。							
(到達目標) 1. 公衆衛生看護における管理の概要と管理方法について説明できる。 2. 保健・医療・福祉の地域連携体制と保健師の役割について理解し説明できる。 3. 健康危機管理について理解し、公衆衛生看護管理者としての役割が理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとする(オンライン講義の場合も同様)。 授業内ワークシート・レポートの提出期日を過ぎた場合は評価対象としない。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	公衆衛生看護管理の概念・特性・機能					神崎	
2	公衆衛生看護活動に関する法令						
3	業務管理の実際(事例管理)					金藤	
4	情報管理(個人情報・情報公開)						
5	感染症発生と保健管理の実際						
6	組織運営管理①(事業・業務管理, 計画策定, 事業化)						
7	組織運営管理②(予算管理, 自治体における予算の機能)						
8	組織運営管理③(人材管理と人材育成)						
9	リスクマネジメントのプロセスと保健師活動					神崎	
10	健康危機管理の要素と展開方法						
11	災害と災害時の保健管理						
12	各災害サイクルにおける災害対策と保健活動						
13	地域ケアにおける業務管理と質保証						
14	地域ケアシステムの構築と保健活動						
15	まとめ						
成績評価方法							
定期試験(80%), 授業内ワークシート・レポート・小テスト等(20%) ※講義状況によっては割合を変更することがあります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
国民衛生の動向 2022/2023		厚生労働統計協会					
標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論		標 美奈子 他		医学書院		978-4-260-04707-4	
標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術		中村裕美子 他		医学書院		978-4-260-03870-6	
標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動		中谷芳美 他		医学書院		978-4-260-03187-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
国家試験問題も活用しながら、配布資料やテキストを中心に講義を進めます。指定教科書は持参してください。 ※テキスト:「標準保健師講座」シリーズは、2年次および3年次で購入したもので結構です。 ※「国民衛生の動向」は保健師国家試験対策でも活用しますので、必ず購入してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール: kanzaki@hcu.ac.jp, kanefuji@hcu.ac.jp							